

優れたマシンとサービスを
提供する技術者集団海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
試作可
小ロット

客先要求仕様で製作したユーザー専用プラスト装置

業務
内容多様なニーズに応える
ショットブラストマシン

ショットブラストマシンを提供する大手メーカー群の一角を占める大鑄。ショットブラストとは、ワーク（対象物）に対して、研掃材と呼ばれる金属、樹脂、セラミック等からなる粒体を投射・衝突させることで、ワーク表面を均一に荒らしたり洗浄したり、構造改質して強度や耐久性を高める加工法だ。

生産効率、安全性、多品種少量への適応性等、何を優先させるかはユーザーによってさまざま。高い技術力を背景に、標準機・標準仕様にもかかわらず積極的にカスタマイズすることで、多様な顧客ニーズに応えている。

強み

メンテナンスサービスの
充実が人材育成から

ショットブラストマシンは、研掃材を衝突させる表面処理方法ゆえに、故障しやすい機械といえる。大鑄では、ユーザーに快適に安定して使用していただく上で、メンテナンス体制の充実こそがメーカーの責務と考え、本社には6人ものサービスエンジニアを配している。

専従者が少ない九州支店においても、営業職や工場での製造従事者の中にメンテナンス対応が可能なメンバーが控えており、組織全体で顧客対応に万全を期している。積極的な外部研修への参加やジョブローテーション等によって、修理やメンテナンス業務を担える人材の比率を高めている。

自
展開特許取得の塗装剥離装置
「ジグ・ストリップパー」

特許も取得している同社の塗装ハンガー剥離専用プラスト装置「ジグ・ストリップパー」は、銅を用いた特殊な研掃材により、治具等に付着した塗料や接着剤を剥離することに威力を発揮。この分野におけるシェアは圧倒的だ。発生した粉塵（繰り返し使用され微細化した研掃材と塗料粉の混合物）は内蔵の集塵装置によって回収される。これらを買回した上で、それぞれを再生するリサイクルシステムも業界内で先陣を切って導入してきた。



塗装ハンガー剥離用途の標準型ハンガー式プラスト装置

海外

インドネシアに
現地法人を設立

同社はインドネシアの四輪車市場の拡大をビジネスチャンスと捉え、平成22年に現地法人「ダイチュウ・インドネシア」を設立し、翌年から本格稼働を始めている。基幹部品については日本から送るが、汎用部品は現地にて調達した上で組み立てている。

日本国内同様、メンテナンス体制を充実させることでユーザーの支持を得て、さらなる取引拡大につなげるという戦略は変わらない。インドネシア国内のみならず、広くASEAN諸国を視野に入れた事業展開を志向している。

COMPANY PROFILE

株式会社大鑄

当社の
歴史

当社事業は、父・藤本明が、大阪市天王寺区で大鑄商會を創業したことに始まります。創業後10年を経過した頃から、プラストマシンや集塵装置の設計・製造に注力するようになり、以来、ショットプラントの専門メーカーとして、専門性の高い機械や設備を提供してきました。近年は、メンテナンスやリサイクルシステムも含めたトータルサポートに力を入れています。

当社に関わるすべての人が、互いを尊敬・尊重し合える職場を目指しています。

代表取締役 藤本 太郎さん



■主な事業内容

各種ショットプラストマシンの設計・製作・販売・メンテナンス等

■主な取引先（納入先）

塗装、熱処理、鍛造、ダイカスト鑄造、メッキ加工、アルマイト処理等に関わるメーカー・商社等

住 所 / 〒569-0843
高槻市三箇牧2-1-5
TEL / 072-677-5332
FAX / 072-677-5335
創 業 / 昭和32年5月
設 立 / 昭和37年3月
資本金 / 3,000万円
従業員 / 40名

<http://www.daichu-net.co.jp>